

第19号

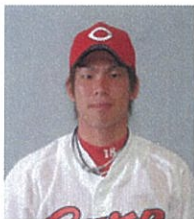


ニュース

ニュース

加盟団体

- ・NTT西日本広島
- ・サンフレッチェ広島 ソフトテニスクラブ
- ・JTサンダース
- ・中国電力陸上競技部
- ・湧永製菓
- ・コカ・コーラウエスト
- ・広島メイプルレッズ レッドスパークスホッケー部
- ・広島ガスバドミントン部
- ・広島東洋カーブ



セ・リーグは10日、レギュラーシーズン全日程を終了。プロ4年目の前田健太が勝利数、防御率、奪三振の先発投手の3冠を獲得した。

勝利数
防御率
奪三振

セ・リーグでは1999年の上原以来の快挙で、リーグ史上最年少での受賞となった。また、カーブでは初めてのこととなった。

そのほかカーブでは梵英心が43個で初の盗塁王に輝いた。

チームとしては58勝84敗2引き分け、勝率4割8厘で5位に終わった。

野村カーブ2年目の来シーズンの復活を期待したい。

マエケン 投手3冠

◆セ・リーグ勝敗表◆全日程終了

	試	勝	敗	分	率	差	
①中日	144	79	62	3	.560	-	※
②阪神	144	78	63	3	.553	1.0	※
③巨人	144	79	64	1	.552	1.0	※
④ヤクルト	144	72	68	4	.514	6.5	
⑤広島	144	58	84	2	.408	21.5	
⑥横浜	144	48	95	1	.336	32.0	

(注) ※はクライマックスシリーズ出場

前田健・石原が受賞

セ・リーグバッテリー賞

プロ野球バッテリー賞の選考委員はセ・リーグはカーブの前田健・石原を選んだ。

5年ぶり男女優勝

ソフトテニス 全日本選手権



ソフトテニスの天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権は15日から3日間、徳島市大神子テニスセンターで行われ、NTT西日本広島が5年ぶり2度目の男女優勝を飾った。男子の中堀・高川は2年連続9度目、女子の佐々木・大庭は初優勝。

男子では堀・長江、水澤・岩崎も中堀・高川とともにベスト8に進出、レベルの高さをうかがわせた。女子の塔田は曾我部(岐阜太平洋工業)とペアを組んで出場したが、ベスト16にとどまった。



4強を独占 仁井岡杯

仁井岡杯選手権は3日、呉市営コートであり、一般女子でNTTが4強を独占、決勝は佐々木・大庭と榎本・伊東で争われ、佐々木・大庭が栄冠に輝いた。

《全日本ソフトテニス 成績》

【男子】

▽準々決勝

中堀・高川5-0小田・今井(日体大)
堀・長江1-5早川・向井(立命大)
水澤・岩崎3-5鬼頭・河村(山口教員大 宇部興産)

▽準決勝

中堀・高川5-0早川・向井

▽決勝

中堀・高川5-2篠原・小林(日体桜友会 ミズノ)

【女子】

▽準々決勝

佐々木・大庭5-2七星・岡田(関学大)

▽準決勝

佐々木・大庭5-2上原・平田(ナガセコ)

▽決勝

佐々木・大庭5-2杉本・森原(東芝姫路)

コカ・コーラ あと一步の準V



全日本女子社会人ホッケー選手権

ホッケーの全日本女子選手権は16日から4日間、岐阜グリーンスタジアムで開かれ、コカ・コーラウエストは決勝でソニーに敗れ準優勝、優勝へあと一步で届かなかった。

駒澤MVP オールスター

11日に岐阜県グリーンスタジアムでオールスターが行われ、PS戦の末、西日本が初勝利を挙げた。

この試合でMVPに駒澤が選ばれた。また、日本リーグベストイレブンにMF駒澤、GK吉川、FW為藤(初)が選出された。

《ホッケー女子日本リーグ 成績》

	試	勝	分	敗	点差
①ソニーHC	14	12	2	0	38
②コカ・コーラ	14	8	4	2	28
③天理大	14	6	3	5	21
④南都銀行	14	6	3	5	21
⑤山梨学院大	14	7	0	7	21
⑥東海学院大	14	6	0	8	-18
⑦立命大	14	2	1	11	-43
⑧グラクソ	14	1	3	10	-33

(注) 3-5位は得失点差による。

コカ・コーラはコカ・コーラウエストレッドスパークス、グラクソはグラクソン・スミスライン

《全日本女子社会人選手権 成績》

▽1回戦

○22(9-0、13-0)0香川ク

▽準々決勝

○3(1-0、2-0)0HFC HANNO

▽準決勝

○2(0-0、2-0)0南都銀行

▽決勝

●1(0-4、1-1)5ソニー

新外国人GK薫紅獲得
新外国人のGK薫紅を獲得、16日からの全日本社会人選手権からベンチ入りした。薫紅は中国・天津市出身の23歳。06年には中国代表候補に選ばれた。176cmの長身を使った守備範囲の広さが持ち味。



初優勝へ突っ走れ

ナビスコ杯 3日に磐田と決勝

サンフレッチェが初めてのタイトルへチャレンジする。ナビスコ杯準決勝で清水に1勝1分けとして初の決勝に進出した。

ACL出場で準々決勝から出場、G大阪と1勝1敗、得失点差で並び、アウエーゴール数で上回り準決勝に進出、清水と対戦した。3日に国立で磐田と頂点を目指し対決する。94年第1ステージを制したが、チャンピオンシップでヴェルディ川崎（現東京ヴェルディ）に敗れている。

《ナビスコ杯決勝までの歩み》

- ▽準々決勝（1勝1敗）
得失点でも並びアウエー得点数差
①●0（0-0、0-1）1 G大阪
②○2（1-0、1-1）1 G大阪
- ▽準決勝（1勝1分け）
①○2（0-0、2-1）1 清水
②▽1（0-0、1-1）1 清水

《天皇杯 成績》

- ▽2回戦
○4（2-0、2-0）0 デツォウラ島根
- ▽3回戦
●2（0-0、1-1、0-0、1-1）PK 5-6 福岡

天皇杯3回戦は13日、コカ・コーラウエスト広島スタジアムであり、サンフレッチェは福岡にPK戦で敗れ、昨年の鳥栖に続きまたJ2勢に苦杯を喫した。

3 昨年に続き
回戦敗退
天皇杯

11月に中国・広州で開かれるアジア大会日本代表にトップス勢が次々名乗りを挙げている。ハンドボールは男子の湧永製薬からGK松村、CP東長濱、女子のメイプルレッズからはCP植垣と新城。ホッケー女子ではコカ・コーラウエストのDF小野、MFで主将を務める駒澤が選出された。活躍を期待したい。

コカ・コーラ



新たに6人が代表入り
さあアジア大会へ

湧永製薬



メイプル



千葉国体は9月下旬から10月上旬にかけ千葉県内で行われ、バレーボール成年男子6人制のJTが3年ぶり6度目の優勝を飾り、ソフトテニスのNTT西日本広島は成年男子が6位、女子は3位。ハンドボールでは成年男子の湧永製薬が4位、成年女子の広島メイプルレッズは7年ぶり決勝に進出したが、オムロン（熊本）に1点差で涙をのんだ。

ホッケーは成年女子のコカ・コーラウエストは昨年に続き3位となった。陸上の中国電力では田子が1500mに出場、3分46秒35で7位に入賞した。

千葉国体 報告

《バレーボール=JT》

- ※成年男子6人制
- ▽準々決勝
○3（21-25、25-21、25-22、26-24）0 千葉（順天大）
- ▽準決勝
○3（25-20、25-23、23-25、31-29）1 新潟（選抜）
- ▽決勝
○3（25-20、25-23、28-26）0 東京（FC東京）

《ハンドボール=湧永製薬》

- ※成年男子
- ▽1回戦
○45（22-10、23-13）23 香川（選抜）
- ▽準々決勝
○39（23-13、16-5）18 茨城（選抜）
- ▽準決勝
●32（17-15、15-21）36 埼玉（大崎電氣）
- ▽3位決定戦
●25（12-11、13-17）28 佐賀（伊勢織）

《ハンドボール=メイプルレッズ》

- ※成年女子
- ▽2回戦
○27（12-14、15-5）19 香川（麒麟）
- ▽準々決勝
○36（19-6、17-9）15 千葉（選抜）
- ▽準決勝
○27（13-7、14-14）21 大阪（選抜）
- ▽決勝
●18（10-10、8-9）19 熊本（松山）

《ホッケー=コカ・コーラウエスト》

- ※成年男子
- ▽1回戦 ○3（3-1、0-0）1 岩手（選抜）
- ▽準決勝 ●0（0-1、0-1）2 岐阜（選抜）
- ▽3位決定戦 ○3（1-0、2-1）1 栃木（選抜）

《ソフトテニス=NTT西日本広島》

- ※成年男子
- ▽1回戦 ○2-1 千葉（中堀・高川4-1 白根・森田・館越・原2-的場・佐々木・堀・中本4-2 室谷・塩巻）▽準々決勝 ●1-2 三重（館越・原1-4 村上・後藤・中堀・高川4-3 品川・玉川・堀・中本2-4 増田・今井）▽5-8位決定予備戦 ○2-0 長崎（中堀・高川4-1 丸山・児玉・堀・中本4-3 満屋・中尾）▽5、6位決定戦 ●0-2 京都（中堀・高川2-4 南本・橋本・館越・原0-4 花田直・柴田）

- ※成年女子
- ▽1回戦 ○3-0 宮城（佐々木・大庭4-0 小野寺・渡部・埜田・石井=早大4-2 太田・斎藤・榎本・柏原=早大4-1 阿部・田中）▽準々決勝 ○2-0（榎本・柏原4-0 長・海江田、佐々木・大庭4-3 柿崎・渡辺）▽準決勝 ●0-2 東京（埜田・石井3-4 中川・阿部、佐々木・大庭2-4 上原・平田）▽3位決定戦 ○2-0 岡山（榎本・柏原4-3 水松・篠楚有、埜田・石井4-0 小野・篠楚知）

《陸上=中国電力》

- ※成年男子
- ▽1500m 決勝 ⑦田子康宏3分46秒35

中国電力 陸上競技部

松江玉造ハーフマラソンは9月26日に行われ、田中宏樹が1時間4分36秒の大会新記録で初優勝した。田中はスタートから快調な走りを見せ首位を独走、2位に2分50秒差をつけた。

田子2位、石川自己新 全日本実業団対抗

全日本実業団対抗陸上選手権は9月24日から3日間、新潟市の東北電力ビッグスワンスタジアムで開かれ、4人が出場した。1500m 決勝は田子康宏が3分44秒36で2位、5000m 決勝は岡本直己が13分56秒84で9位、10000m (タイムレース)では石川卓哉が28分17秒39の自己新で11位、藤森憲秀は28分48秒06で29位。

田中、大会新V ハーフマラソン

呉 700 得点 植垣は 300 得点 ハンド日本リーグ



ハンドボール日本リーグでメイプルレッズに今季復帰した呉成玉が9月25日のソニーセミコンダクタ九州戦（東区SC）で史上3人目となる通算700得点を記録した。また、植垣が10月10日の北国銀行戦（小松）で通算300得点をマーク。前日のオムロン戦ではデビュー以来続けている連続得点を50試合に伸ばした



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。